

東日本大震災の記録

あぶくま高原道路の災害復旧工事の概要(途中経過報告)



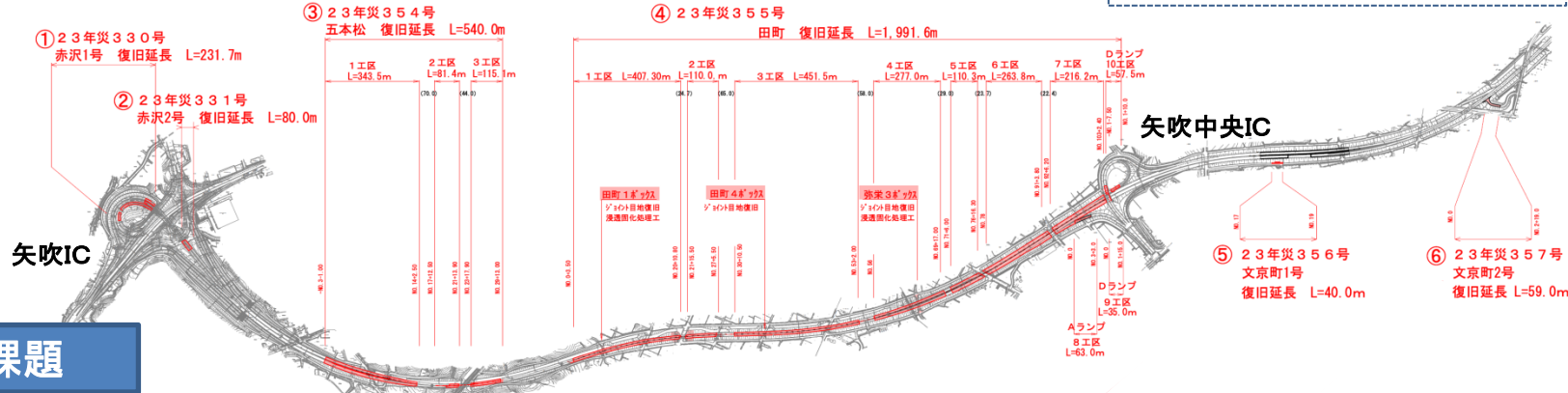
県南建設事務所
管理課 技師 藤野直紀

施工場所: 西白河郡矢吹町田町地内 外

1. 概要

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、地域高規格道路である「あぶくま高原道路」が被災した。特に盛土区間が連続している矢吹IC～矢吹中央IC間の被害が大きく、路面・路体・ボックスカルバートなどの災害復旧工事を実施している。

復旧箇所 : 6工区
総復旧延長 : 2,942m
総査定決定額 : 543,008千円



2. 経緯・課題

3月11日の地震による被害により、即日通行止めとし現地調査を開始した。3月末までに応急復旧工事を行い、速度制限をしようえで通行止めを解除した。平成23年10月中旬から矢吹IC～矢吹中央IC間を通行止めとして、路面の本復旧工事を開始し、平成23年12月末には路面復旧工事が完了し通行止めを解除した。現在は、ボックスカルバート基礎地盤の液状化対策工事を実施中である。

<経緯>

- 平成23年 3月11日 東日本大震災による被災、通行止めとし、現地調査を実施
- 平成23年 3月14日 応急復旧工事着手
- 平成23年 3月24日 応急復旧工事完了、速度制限のうえ通行止め解除
- 平成23年 6月13日～24日 災害査定
- 平成23年 10月17日 路面本復旧工事着手、矢吹IC～矢吹中央IC間通行止め
- 平成23年 12月28日 路面本復旧工事完了、通行止め解除
- 平成25年 1月31日 ボックスカルバート液状化対策工事实施中



路面の亀裂

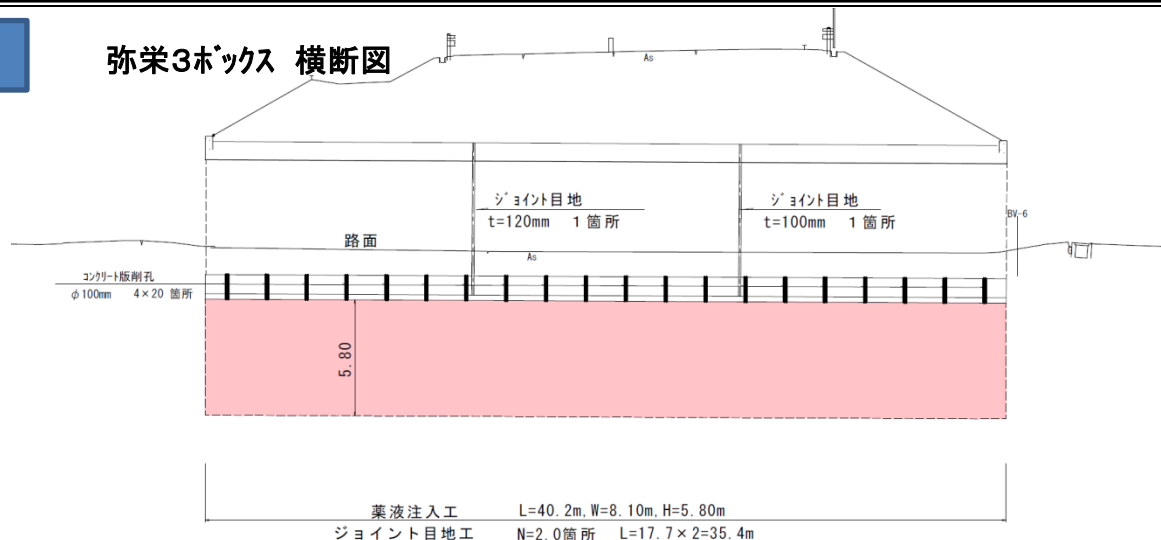


液状化によるボックスカルバートの沈下

3. 内容(ボックスカルバート復旧工事)

- 【工事費】167,334,300円
- 【工期】H23.9.28~H25.3.29
- 【工事概要】
 - 地盤改良工 N=2ヶ所
 - ジョイント目地補修工 N=3ヶ所
 - 道路土工 V=3,800m³
 - 積ブロック工 A=293m²

弥栄3ボックス 横断面図



4. 進捗状況・創意工夫

- ・本工事では平成23年12月末の矢吹IC~矢吹中央IC間の通行止め解除に向け、道路土工及びジョイント目地補修工を先行して行った。その後、積ブロック工など路体法面の復旧工事を行った。地盤改良工は、ボックスカルバート内の占用物である農業用水路の使用時期(4月~9月)は施工ができないため、平成24年10月からボックス底版の鉄筋探査などの準備工を開始し、現在は薬液注入工施工中である。



ジョイント目地工完了状況



薬液注入工施工状況



薬液注入エプラント

注入量管理状況

5. おわりに

- ・地盤改良工での底版コンクリートの削孔は、鉄筋を切断しないよう小口径の削孔機を使用した。また、弥栄3ボックスでは地下水位が底版より60cm程度高く、足場を設置して薬液注入工を実施した。今後も側道やボックス内部の農道の復旧工事との調整を図りながら、工事の進捗を図っていきたい。